

作成日：西暦2021年3月31日

タイトル

2004年1月～2016年12月に乳房外パジェット病と診断された方へ
～保存された血液、病理検体を用いて免疫学的な予後因子を調べることにつ
いての説明文書～

臨床研究課題名：

乳房外パジェット病における免疫学的因子の解析と予後との相関に関する研究

1. この研究を計画した背景

乳房外パジェット病はまれな皮膚悪性腫瘍です。進行期に対する有効な治療法はいまだ確立されていません。免疫療法という新しい治療法が他のがんの治療で良い効果をあげており、乳房外パジェット病にも効果が期待されていますが、乳房外パジェット病と免疫の関係は、まだよく分かっていません。

2. この研究の目的

適切な治療法の決定や経過の予測のため、乳房外パジェット病の免疫のメカニズムを調べます。

なお、この研究は、以下の研究者によって本院にて実施しています。

研究責任医師： 加齢・環境皮膚科学 中村元樹

3. この研究の方法

過去に検査や手術などで切除された乳房外パジェット病の標本や保管されていた血液を用いて、各種免疫学的染色を行い、腫瘍に浸潤する免疫担当細胞の組成を調べます。また次世代シーケンサーを用いた解析により、腫瘍及び浸潤免疫細胞の発現する因子と予後の関係を調査します。この研究で解析するのは、腫瘍で発現している遺伝子のみであり、親から子へと受け継がれる遺伝子については解析しません。

以下の項目について、カルテより情報を収集します。

- ① 初診時年齢
- ② 初診の年月日
- ③ 性別
- ④ 腫瘍の部位、サイズ
- ⑤ 基礎疾患
- ⑥ 内服薬等、基礎疾患の治療詳細
- ⑦ 各検体の採取日

⑧ 治療経過

⑨ 臨床転帰

この研究では過去に検査もしくは手術によって切り取られ、診断に使われた乳房外パジエット病の標本の残りを使用します。研究終了後、標本は他の施設で他の研究に使用されることではなく、これまで同様に保管されます。次世代シーケンサーでの解析結果は研究事務局（名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学）にて厳重に保管されます。この研究に参加することでのあなたに経済的負担はなく、またあなたに対する謝礼はありません。

4. この研究に参加しなくても不利益を受けることはありません。

この臨床研究への参加はあなたの自由意思によるものです。この臨床研究にあなたの医療情報を使用することについて、いつでも参加を取りやめることができます。途中で参加をとりやめる場合でも、今後の治療で決して不利益を受けることはありません。

5. あなたのプライバシーに係わる内容は保護されます。

研究を通じて得られたあなたに係わる記録が学術雑誌や学会で発表されることがあります。しかし医療情報などは匿名化した番号で管理されるため、得られたデータが報告書などであなたのデータであると特定されることはできませんので、あなたのプライバシーに関わる情報（住所・氏名・電話番号など）は保護されます。

6. 得られた医学情報の権利および利益相反について

本研究により予想される利害の衝突はないと考えています。本研究に関わる研究者は「厚生労働科学研究における利益相反 (Conflict of Interest : COI) の管理に関する指針」を遵守し、研究者の所属機関の規定に従って COI を管理しています。

7. この研究は必要な手続きを経て実施しています。

この研究は、公立大学法人 名古屋市立大学大学院 医学研究科長および名古屋市立大学病院長が設置する医学系研究倫理審査委員会（所在地：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）において医学、歯学、薬学その他の医療又は臨床研究に関する専門家や専門以外の方々により倫理性や科学性が十分であるかどうかの審査を受け、実施することが承認されています。またこの委員会では、この研究が適正に実施されているか継続して審査を行います。

なお、本委員会にかかる規程等は、以下、ホームページよりご確認いただくことができます。

名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター ホームページ “患者の皆様へ”

<http://ncu-cr.jp/patient>

8. 本研究について詳しい情報が欲しい場合の連絡先

この臨床研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究にあなたご自身のデータを使用されることを希望されない方は、ご連絡ください。

なお研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合があります。

名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター

連絡先 平日（月～金） 8:30～17:00 TEL(052)858-7215